

平成27年度 収支決算報告

平成27年度の収支決算は以下の通りです。
会計期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

収入の部

区 分	予算額	決算額	差 引	備 考
前期末繰越金	1,390,491	1,390,491	0	
会 費 収 入	650,000	619,000	31,000	会費収入105名分
寄付金収入	0	0	0	
雑 収 入	200,000	180,349	19,651	預金利息など
合 計	2,240,491	2,189,840	50,651	

支出の部

区 分	予算額	決算額	差 引	備 考
事 業 費	1,000,000	371,692	628,308	卒業生へのスーツ贈呈など
事 務 費	事務消耗品費	30,000	0	30,000 振込用紙印刷代
	印刷製本費	50,000	33,264	16,736 後援会だより印刷代
	通信運搬費	90,000	13,296	76,704 郵送代
	会 議 費	200,000	0	200,000
	手 数 料	30,000	12,150	17,850 会費振込み手数料
雑 費	雑 費	10,000	0	10,000
	施設整備等積立金	500,000	500,000	0 累計額 1,500,000
予 備 費	330,491	0	330,491	
次年度繰越金	0	1,259,438	▲1,259,438	28年度への繰越金
合 計	2,240,491	2,189,840	50,651	

平成28年度 予算

平成28年度の予算は以下の通りです。
会計期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

収入の部

区 分	本年度予算	前年度予算	増 減 額	備 考
前年度繰越金	1,259,438	1,390,491	▲131,053	
会 費 収 入	650,000	650,000	0	
寄付金収入	0	0	0	
雑 収 入	200,000	200,000	0	預金利息など
合 計	2,109,438	2,240,491	▲131,053	

支出の部

区 分	本年度予算	前年度予算	増 減 額	備 考
事 業 費	1,000,000	1,000,000	0	卒業生へのスーツ贈呈など
事 務 費	事務消耗品費	30,000	30,000	0 振込用紙印刷代
	印刷製本費	50,000	50,000	0 後援会だより印刷代
	通信運搬費	90,000	90,000	0 郵送代
	会 議 費	200,000	200,000	0
	手 数 料	30,000	30,000	0 会費振込み手数料
雑 費	雑 費	10,000	10,000	0
	施設整備等積立金	500,000	500,000	0
予 備 費	199,438	330,491	▲131,053	
合 計	2,109,438	2,240,491	▲131,053	

後援会からのお知らせ

ウェルカム卒園生新年会のお知らせ

60数年前より新年の1月2日に、童園を訪れた卒園生を中心に新年会を行っています。毎年、懐かしい思い出話に花が咲き、楽しいひとときを過ごしています。来年も1月2日、夕方6時から童園にて予定しておりますので、皆様のご参加をぜひお待ちしております。

後援会費納入のお願い

子どもたちの多くが経済的な理由、その他で進学を断念しています。また就職する児童においても職場にうまく適応できず、退職や生活困難に陥る子どもも出ています。藤崎台童園後援会は、そのような子どもたちを少しでも支援していくとともに、会員の皆様の相互の親睦をはかる目的で設立されました。会費は一口2千円です。後援会の趣旨に賛同される方のご入会を心よりお待ちしております。

編集後記

熊本地震発生から半年が経ち、熊本市内はようやく復興の兆しが見えてきました。しかし、被害が大きかった益城町や西原村、南阿蘇村はまだ手つかずの状態が広がり復興のスピードに地域差を感じます。震災直後から、皆さまからたくさんの励ましの言葉やご支援を頂き、改めて感謝申し上げます。また元気な熊本が戻ってくる日まで、力を合わせ頑張っていきたいと思います。

新しく入会した皆様のご紹介

平成27年10月1日以降に新たに入会していただいた皆様方です。

中村 誠二 本田 元治 秋吉 龍二
※順不同・敬称略

※平成28年10月以降入会の方は次回の後援会だよりで紹介いたします。

児童養護施設 藤崎台童園
後援会報誌

風見鶏通信

2016年10月発行
vol.4

◎発行者：藤崎台童園後援会
〒860-0007 熊本市中央区古京町3番5号
TEL 096-352-5063 FAX 096-352-5445

後援会会長
ごあいさつ



後援会会長 淵上 亜昭

秋色一段と深く、朝夕の冷え込みも日増しに感じる候になってまいりました。お変わりなくお過ごしのことと存じます。

熊本、大分両県にわたり甚大な被害を及ぼした大地震、皆様の被災状況、いかばかりかと案じ、とり急ぎ御見舞い申し上げます。

4月16日深夜1時過ぎ、経験したことがない強烈な震動に見舞われ、建物全体が倒壊するのではと思われました。町内住民のほとんどが駐車場や公園等に避難し、昼間は家、夜は駐車場という不安定な生活をしたようです。

このような情勢下、震災直後の危険な状況にもかかわらず、多くのボランティアの皆様から心温まる救援活動をいただき、涙の出る思いであります。ありがとうございました。

震災後6ヶ月を過ぎましたが、益城町及び西原村、南阿蘇村では、まだまだ、たくさんの方が仮設住宅で不自由な生活を送っていることを忘れてはならないと思います。

なお、童園については、建物、運動場等に被害があったものの、予想もしない深夜のパニック状況の中で一人も犠牲者を出すことなく全員、安全に子どもたちを避難させたと聞いております。園長はじめ、全職員の懸命な取り組みがなされた結果と敬意を表するところです。

また、震災直後から多くの企業、団体、個人の皆様から、たくさんのご支援が寄せられています。紙面を借りて深く深く感謝申し上げます。

お陰様で後援会も発足3年になります。小さな後援活動ですが「種まけば、いつの日か花が咲き実を結ぶ」ことを願い、引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますよう、伏してお願ひ申し上げます。

いずれ総会を兼ねて、懇親会を開きたいと考えております。追って、ご案内申し上げます。

児童養護施設
藤崎台童園園長
就任のごあいさつ



第四代 藤崎台童園園長
北村 直登

平成28年4月1日付けで、藤崎台童園の園長に就任いたしました。まだ右も左も分からないうちに14日の前震、そして16日未明の本震があり、その後1ヶ月余り、園長として、また校区社協長として指定避難所の取りまとめと二足のわらじでした。

養護施設関係の知識はまだ乏しい為、この1年間は出来るものには全て出席し、勉強させていただくつもりです。養護・養育については、これからの課題と受け止め、地域に開かれた施設、社会的養護とは何か、と言う事をいつも念頭に置き、地域との媒介役として私なりに情報公開を行い、地域の要望は全て受け入れる気持ちで臨みたいと思います。日々、児童の元気な顔を見ながらの生活も張り合いがあり今後の糧になるでしょう。後援会の皆さま、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

27年度の後援会活動報告

平成27年度に後援会が行った主な活動をご報告します。
今後とも意義ある活動が行えるよう努めてまいります。

新たに社会に旅立つ卒園生にスーツを贈呈しました!!

3月に卒園祝いが行われ、洲上後援会会長から、式の冒頭で新たに社会人となる卒園生にお祝いの言葉を送り、卒園生5名に後援会からのスーツの目録が手渡されました。新たに社会に旅立つ卒園生からお礼と抱負の言葉がのべられました。



新しく入ってくる後輩やパートさんに教えられるように頑張っていきたい

私は、フードパル熊本内にある「わかば食品株式会社」でサーマルという仕事をしています。サーマルという仕事は、商品名、値段、材料名が間違っていないか、印字が切れていないかをチェックし、テープで鯉節やマヨネーズなどに貼付する仕事です。卒園の時に皆様にスーツを頂きまして、ありがとうございました。これからは、たくさんの事を覚えて、今後新しく入ってくる後輩やパートさんに教えられるように頑張っていきたいと思います。



わかば食品株式会社
松永 夏恋さん

童園にてウェルカム卒園生新年会を行いました!!

今年も卒園生を交え、1月2日に藤崎台童園でウェルカム卒園生新年会を行いました。皆さん、久しぶりの再会に、たくさんの思い出話が語られました。

卒園した新成人たちに成人祝を贈呈しました!!

今年1月11日の成人の日に新成人を迎えた卒園生4名が童園を訪れました。立派に成長した卒園生に、後援会からお祝い金が贈られました。



童園からのお便り

男子野球 九州大会優勝!! 女子バレーも九州大会出場!!

熊本県大会で準優勝した男子野球と女子バレーボールは8月に鹿児島県で開催された九州児童福祉施設球技大会に共に出場し、男子野球は、見事優勝を果たしました。女子バレーは優勝はなりませんでしたでしたが、よく健闘しました。



童園園庭でお花見

小春日和となった4月2日に童園の園庭で花見をしました。満開となった桜の下でお弁当を食べました。



みんなでかき氷を食べました!!

8月にボランティア団体の方々が、童園を訪れ、子どもたちにお腹一杯かき氷を振る舞っていただきました。



サマーフェスティバル in 童園を開催!!

6月にサマーフェスティバル in 童園を開催しました。あいにくの雨でしたが、たくさんの方でにぎわいました。



楽しかった海水浴!!

震災の影響で心配されていた海水浴でしたが、今年も無事にボランティア団体の方々と開催することが出来ました。



平成28年熊本地震の被災状況

平成28年4月14日及び4月16日に熊本地方を震源地とする二度の大規模地震により、熊本県内に甚大な被害をもたらしました。熊本市中心部に位置する藤崎台童園も大きな被害を受けました。

藤崎台童園が位置する熊本市中央区では、4月14日の地震(前震)では震度5強を観測、さらに4月16日の地震(本震)では震度6強を観測し、非常に強い揺れに見舞われました。4月14日に発生した前震では、強い揺れを感じ、棚が倒れるなどの被害はあったものの、目立った被害はなく、その後はいつも通りの生活を送っていました。しかし、16日未明に発生した本震では、停電や断水、崖崩れなど大きな被害が生じ、児童全員が避難せざるを得ない状況になりました。

本震後は、しばらく不便な生活が続きましたが、徐々にライフラインも復旧し、現在は震災前の生活に戻っています。今回の震災では、園内に被害が出たものの、児童及び職員に人的被害がなかったことが幸いでした。また、全国の方々から、多くの支援物資や励ましの言葉をいただき、改めて多くの方々に支えられていることを感じました。



女子棟裏の崖崩れ。崖の一部が崩落し、土砂が堆積する。正門に繋がる薬師坂の崖崩れの様子。



女子棟トイレ入り口の破損。本震直後、園庭に入った亀裂。地震の影響で園庭に空いた穴。



地震発生後の様子

◎4月14日21時36分頃 前震発生

棚にあったものが落ち散乱するものの大きな被害はなかったため、居室に戻り通常生活を送る。

◎4月16日1時25分頃 本震発生

園内では危険と判断し、避難場所である一新小学校へ全員避難する。敷地法面が崩れ、石垣が道路上に落下。南側崖からは土砂崩落が確認される。居住棟は壁のひび割れ、ドアの破損、床のつなぎ目の浮き上がり等がみられ、断水となる。

◎4月17日

児童全員が避難所から戻り、被害の少なかった男子棟で全員生活する。断水のため、飲み水を郊外まで水汲みに行き、生活用水は前日に貯めた雨水や江津湖に水汲みに行くなどして賄う。支援物資が徐々に届き始める。

◎4月18日

支援物資が届き始める。近くの温泉施設が営業再開したため入浴に行く。

◎4月19日

午前中から水が出るようになるが、水圧が低く、濁りもあるため飲用に使用できないが、洗濯ができるようになる。多くの支援物資が届き、物資不足は解消へ向かう。

◎4月20日

水道が完全復旧したため、本園で入浴が可能となる。食材の入荷も通常に戻り、震災前の生活状況に回復。

グループホーム棟及び厨房棟の建て替え状況

熊本地震の影響もありましたが、7月に施工業者が決まり、8月4日に無事に起工式が行われました。厨房棟を建てた後、グループホーム棟2棟を建築する予定です。10月現在、厨房棟の建替えが進んでおり、このまま順調に工期が進めば、来年3月には全ての棟が竣工する予定です。



8月4日に工事の無事を祈願して行われた起工式。



建替えが進む厨房棟。その左側に見えるのが旧厨房棟。(10月撮影)